

県民へ口腔ケアの重要性を訴える

治療だけでなく「健口管理」も

歯科受診率向上で理解深める

茨城県歯科医師会(水戸市、森永和男会長)は今年設立100周年を迎える。歯科医療の向上、県民の口腔内の健康増進を目的に日々活動を続けている。昨年4月に就任した森永会長は、100周年にあたる今年、改革元年と位置付け、会運営に取り組んでいる。会長就任2年目に入り、「森永イズム」を色濃く各事業に反映してきた森永会長に、歯科医師会の取り組み、今後の抱負などについて伺った。(聞き手「常陽新聞社代表取締役社長・野野一郎」)

設立100周年を迎えました。今年一年の方針をお聞かせください。
 【森永】「この医療、人を支える医療」をスローガンに掲げ、この一年間取り組んでいきます。高齢化社会である今、いつまでも元気で社会生活を送れるために、生活の質(QOL)の向上を図らなくてはなりません。そのためには、歯中心の治療だけでなく、口腔内全体、口の中、舌を含めた「健口管理」を進めていきたいと思います。
 80歳で20本、64歳で24本の歯を残そう

森永和男 茨城県歯科医師会会長に聞く



口腔ケアの重要性を訴える森永会長

とす「8020・6424運動」が、果たして県民の皆様に十分浸透し、正しく理解されているのかという点を危惧しております。そこで当会として、6月11日(古河市)を皮切りに、県内10カ所で行った「健口づくりキャンペーン」を展開し、県民へ口腔ケアの重要性を訴えていきます。特に私は、東北地域を中心に高齢者の高い自治体を中心とした高齢者率の高い自治体を重点的に展開していきたいと考えています。また、今、歯科受診率が28%と、歯科に対する関心が低いので、受診率を上げたいです。受診率を上げることで、県民に対する口腔ケアへの理解が深まるのではと思っています。

県医師会の齋藤浩会長にも協力をいただき、歯科に関する疾病に対して、随所で発言していただいているので、私も



県民歯科保健大会、母と子のよい歯のコンクール入賞者

県民への訴えとなる行政の協力も不可欠になってきます。
 【森永】幸いなことに、橋本昌良知事には、健口づくりに大いに関心を持って頂いています。橋本知事は10年前から、歯、口の健康の大切さを理解し、県独自の6424運動を提唱していただいた。我が党が当選して、キャンペーンを行うにしても、県をはじめ各保健所、自治体と協力をしながら進めていかなければ、県民に浸透していかないとはいけません。
 口腔ケアを定期的に行っている人と、そうでない人とで健康度の差がはっきり表れると、以前会長はおっしゃっていました。
 【森永】口腔内には、たくさん細菌が生息しています。これらの細菌の

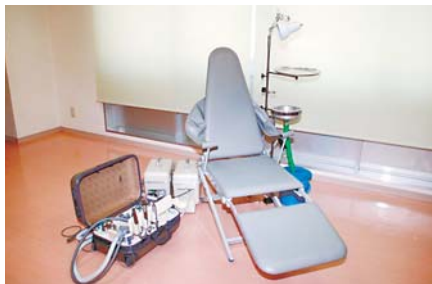
再教育講習会を実施
 歯科衛生士が不足している状況です。この対応策については、
 【森永】確かに歯科医療の現場では、歯科衛生士が不足しています。不足している状況の中で、衛生士の資格がありながら、現場で働いていないという方もいます。それは、結婚や出産を機に辞めて、育児に専念している方が多いというからです。この育児期間が終了した方を、ぜひ職場に復帰してもらおうと、支援事業を今年から推進しています。ただ現実として、休職している間

専門学校存続し人材確保 歯科衛生士、技工士の養成は使命

も、歯科医療は日々進歩しています。その技術の差が生じ、職場復帰にあたって不安に感じられる人もいます。安さを私たちが取り除くために、再教育講習会を実施し、責任を持ってフォローしていきます。1、2年で十分に結果が出るとは限らないが、必ず功を奏すと期待しています。
 人材育成の場としては、茨城県専門学校があります。
 【森永】ここ数年は学生定員を満たすことが難しくなっています。これは、歯科衛生士・歯科技工士に対する認知度の低さも要因の一つだと考えています。そこで、高校訪問や入試説明会などの広報活動を強化した結果、今年度は多数の受験者を得ることができ定員を満たすことができました。
 私たちは、歯科衛生士・歯科技工士・歯科医師の3者協働で県民の皆さんにしっかりと口腔ケアを提供できると考えています。どれ一つかなくても、歯科医療は成り立たないと言ったことまであります。
 私たちの責務として、歯科医師会立の専門学校を何とかもって存続させていかなければなりません。そして、質の高い歯科衛生士・歯科技工士を養成することが私たちの使命であると捉えています。
 先ほども申しましたが、歯科衛生士は実働されていない方も多く、毎年の卒業生の人数も限

在宅歯科医療で往診
 今年1月からは在宅歯科医療連携室もスタートしました。
 【森永】これは、高齢、病弱、障害によって歯科医院に通うのが難しい方を対象に、「ご自宅や病院、福祉施設など」に往診するものです。もちろん、患者に対して治療だけでなく、口腔ケアの大切さも訴えていきます。往診し、仮にそこで手に負えないよう事態なら病院と連携し、治療を進めます。
 患者を快適な生活へと戻すためにも、歯科医だけでは出来ない部分もありません。医師も必要になってくるし、ケアマネージャーも必要になってきます。広くみんなで協力し合い、地域の人たちの生活の質の向上に寄与したいです。
 これまでの反省はいかがですか。
 【森永】利用者から良い評価を得ていると認識しています。当会の各支部に、連携可能なポータブル機器を配備し、県内全域をカバーしています。当会職員1330人の内、340人が対応できる状態です。我々としては、対応人数を増やし、より便利で使いやすいシステムづくりが今後の課題です。

噛むかむレシコンテスト
 ほかに、どのような取り組みがありますか。
 【森永】他県ではやっていない当会独自事業として、噛むことの大切さを訴えるため、昨年から「噛むかむレシコンテスト」を始めました。今の子供たちは、柔らかい食品を多く口にし、昔前のような硬い食べ物を食べるようになりました。今の時代を表していることで、屈強なラグビー選手に卑劣時代の食品を食べさせたら、食べることができなかつたという事例もあります。噛む力の大切



ポータブルチェア・ユニット

さ、噛むことで脳が活性化される、そういうものを教えるために事業化しました。
 今年2月の第20回茨城県歯科医師会のなかで、第1回目の表彰をしました。が、応募の際には、かなりの反響があり、心算も間違った思いはしていません。ただ、それは噛むための関心ではなく、食べることに対しての関心だつたかもしれません。その関心をいかに噛むことに持っていき、かが課題であり5年間継続して取り組んでいきたいと思います。

「こちらから出向く行動を」
 最後に今後の抱負をお聞かせください。
 【森永】今まで、当会は内向きの行事が主でした。だが、そうではなく、私たちが県民に口腔ケアの大切さ、口腔ケアをすることで、質の高い生活が可能になるということを理解してもらいたい。こちらから出向く行動をとるのだから、私たちが最終的に目指すべき形です。
 開かれた歯科医師会にしたい限り、すべての事業が上手くいかない。県民も私たちにアプロウチしてもらえないようにならないで健康増進が可能なように思っています。
 長時間、ありがとうございました。

治療を受けたいが通院が難しい方は、在宅歯科医療連携室へご相談ください

在宅・病院・施設などで「歯・歯ぐきの痛みや入れ歯が合わない等、歯やお口のことで困っているけれども、歯医者さんへは行けない…」という方が近年増えています。
 在宅歯科医療連携室では、県民の皆さまや医療・介護の関係機関からの相談を受け付けると共に、在宅歯科医療(自宅または施設等に訪問して治療や指導を行う)を実施する歯科診療所の紹介を行います。茨城県歯科医師会会員の歯科医師が、皆さまのおられるご自宅、施設や病院までお伺いします。
 県内全地域での要介護高齢者等の生活の質の向上と向上に繋がる在宅歯科医療連携室を設けるために、茨城県の委託を受けて、茨城県歯科医師会では、在宅歯科医療連携室を整備・設置しました。

対象となる方 歯やお口に何らかの問題があり、高齢、病弱や障がい等で歯科診療所へ通うのが困難な方

在宅歯科医療連携室 (茨城県歯科医師会口腔センター内)
 ☎029-215-2176 FAX029-253-1075
 相談受付時間 平日9:00~17:00 / 土曜日9:00~12:00(祭日・年末年始除く)
 水戸市見和2-292 メール renkeisitu@ibasaki.or.jp

職場復帰をご検討中の歯科衛生士の皆様へ

茨城県歯科医師会では、より良い歯科医療を県民の皆様に提供するため、現在在宅で職場復帰を考えておられる歯科衛生士の方々へ、ホームページを利用した就職案内を行っています。また、職場復帰に自信のない方を対象に、右記要領にて無料の再教育講習会も実施いたします。あなたのライセンスをもう一度、患者さんのために生かしてみませんか?お気軽にお申し込みください。当日は、就職面談も行います。

日時:平成24年7月19日(木) 10:00~12:00
 会場:茨城県歯科医師会館
 お申込み・お問合せ ☎029-252-2561
 詳しくは <http://www.ibasaki.or.jp> をご覧ください

茨城 歯科 専門学校
オープンキャンパス+体験入学

オープンキャンパス
 (内容) ①ガイダンス ②学校施設説明(校内見学)
 2012 5.25 [金] 15:00~16:00 6.29 [金] 15:00~16:00

体験入学
 (内容) ①ガイダンス ②学校施設説明(校内見学) ③体験学習 ④入試説明・その他
 2012 7.25 [水] 13:00~16:00 8.22 [水] 13:00~16:00 9.29 [土] 9:00~12:00
 2013 3.25 [月] 13:00~16:00

参加を希望される方は、それぞれ開催日の前日までに電話、もしくはWebサイトの案内に従って申し込みください。
 社団法人 茨城県歯科医師会立
茨城歯科専門学校 TEL029-252-3335
 茨城歯科専門学校 棟裏
 〒310-0911 水戸市見和2-292-1 <http://www.icdht.com/>